

北海道教育委員会「S-TEAM 教育推進事業」
令和6年度（2024年度）授業等改善セミナー

道央・情報 実施報告



令和6年10月22日（火）、北海道札幌北高等学校を会場に、道央ブロック（空知、石狩、後志管内）授業等改善セミナー（情報）を開催しました。道央ブロックの各管内を中心に14名の参加がありました。本セミナーの実施内容等を紹介しますので、授業改善の参考として御活用ください。

実施状況

【学習指導案検討会】 本セミナーの研究授業の実施に向け、道立高校教諭4名（授業者2名、協力員2名）、道教委指導主事2名から成る「授業研究チーム」を編制し、学習指導案の検討をオンラインで3回実施した。学習指導案検討会では、単元（プログラミング）の計画及び学習指導案についてアイデアや意見を出し合いながら協議を進め、授業の中に、個別最適な学びと協働的な学びが一体化するような学習場面を設定するなどの工夫を図った。

【説明】 「教科情報における個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」をテーマとして指導主事が説明をした。参加者は、個別最適な学びのイメージ、協働的な学びのイメージなどについて各自クラウドに入力し、リアルタイムに共有、他者参照しながら説明を聞いた。また、学びに困難さを抱える生徒への配慮、教科における探究的な学びなど、ICT活用に関する様々な情報を共有した。



【研究授業】北海道札幌北高等学校 前田健太郎 教諭、藤島慶太 教諭

情報Ⅰの単元「プログラミング」において、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」をねらいとして研究授業を行った。生徒はコンピュータ教室の端末ではなく、各自の1人1台端末で、プログラミング言語 Python を使いながら課題に取り組んだ。生徒個々にイベントのアルゴリズムを考えてプログラムで表現し、作成したプログラムを周囲の生徒と共有し、新たなイベントを考えて自



己のプログラムを改善、表現する学習活動を行い、最後にフォーラムを活用して授業の振り返りを実施した。

参照した他者の考えが自身にフィードバックされることが同時に起こるため、協働的な学びと個別最適な学びが一体化することとなる。

[単元の計画と学習指導案はこちらから。](#)



【研究協議】「教科情報における個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が図られた授業改善について」

研究授業実施後に、「教科情報における個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が図られた授業改善について」をテーマに研究協議を行った。グループ分けの際にはメンバーの指定は行わず、参加者の判断で主体的にグループを形成して協議を始め、テーマを踏まえて、自校における実践や課題について積極的な意見交換を行った。



【実践発表】「情報科における個別最適な学び、協働的な学びの一体的充実」

教科情報のスペシャリストである北海道札幌北高等学校の前田健太郎先生から、「情報科における個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実」をテーマに、情報Ⅰの単元「データの活用」における授業実践を紹介いただいた。令和6年度「高等学校教育課程編成・実施の手引（共通教科情報）」を基に、教材や指導上の工夫について詳しく紹介いただいた。



※ [令和6年度高等学校教育課程編成・実施の手引・共通教科情報はこちらから](#)



セミナー参加者の声

【参加者の声】

- ・実践事例に触れ、個別最適な学びと、協働的な学びのイメージを持つことができました。
- ・自分の授業をどのように改善すればよいかのイメージを持つことができました。
- ・他者参照により、プログラミングで思考を深める新たな学び方を知ることができました。
- ・1人1台(BYOD)端末とクラウドサービスを活用することが効果的であると思いました。
- ・数学との関係性、教科横断の重要性について考えることができました。
- ・授業改善に役立てるとともに、学科・学校全体で取り組む組織作りから検討してみたい。
- ・このような研修により、授業改善の意識が高まり、授業の質を高められると感じました。

【アンケートの結果（一部）】

- 「探究的な学び」・「主体的・対話的で深い学びの充実」に関する理解が深まりましたか。
 - ・おおいに深まった 50.0%
 - ・深まった 50.0%
- 本セミナーの内容はあなたの今後の授業改善に活用できますか。
 - ・大いに活用できる 66.7%
 - ・活用できる 33.3%

今回のこの報告は、次のウェブページに掲載しております。

<石狩教育局ウェブページURL>

<https://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ikk/82560.html>

